

◆◆◆ The Yokohama Rubber Co., Ltd. ◆◆◆

横浜ゴム株式会社 経営企画部 広報室

〒254-8601 神奈川県平塚市追分2番1号

TEL : (0463)63-0414

FAX : (0463)63-0552

URL : <https://www.y-yokohama.com/>



2025.03



CORPORATE

横浜ゴムは、日本の近代化に不可欠なゴム製品の国産を目的に、「高級ゴム製品の製造を通じての社会貢献」を掲げ、1917年に横浜の地で創立しました。以来100年の年月を超えて、関東大震災、第二次世界大戦、40年不況、オイルショック、バブル崩壊、リーマンショックなど、いかなる試練に直面しようと、つねに挑戦者であり先駆者であり続けることで苦境を乗り越え、世界中で生産・販売を行うグローバル企業に成長してまいりました。横浜ゴムの基本理念は「心と技術をこめたモノづくりにより幸せと豊かさに貢献する」こと。これからも情熱と挑戦をエネルギーに時代と共に走り続けます。

ごあいさつ

横浜ゴムは1917年の創立以来、タイヤをはじめ、工業用品、スポーツ用品など、数々の製品を世に送り出してきました。その一つひとつがお客様の豊かさにつながるものとなるよう心をこめ、生産、販売、技術のすべてに最善をつくしています。これは、世界に広がる横浜ゴムグループ全体で取り組んでいる姿勢です。

昨今の環境変化は非常に早く、当社を取り巻く経営環境も日々変わりつつあります。こうした不確実な時代を生き抜いていくためには、事業にも技術にもイノベーションが不可欠です。横浜ゴムの独自路線を強化した各事業の成長戦略を通じて、安定した企業経営、成長をしていくことが、ひいては、人の、社会の、世界の幸せと豊かさに貢献することにつながると考えています。

いうまでもなく、そのベースには「安全」の思想と「環境」への最大限の配慮が必要です。時代に先駆ける技術に一人ひとりの心をこめて、横浜ゴムは、世界中のお客様から信頼され必要とされる企業を目指してまいります。



代表取締役会長兼CEO 山石 昌孝



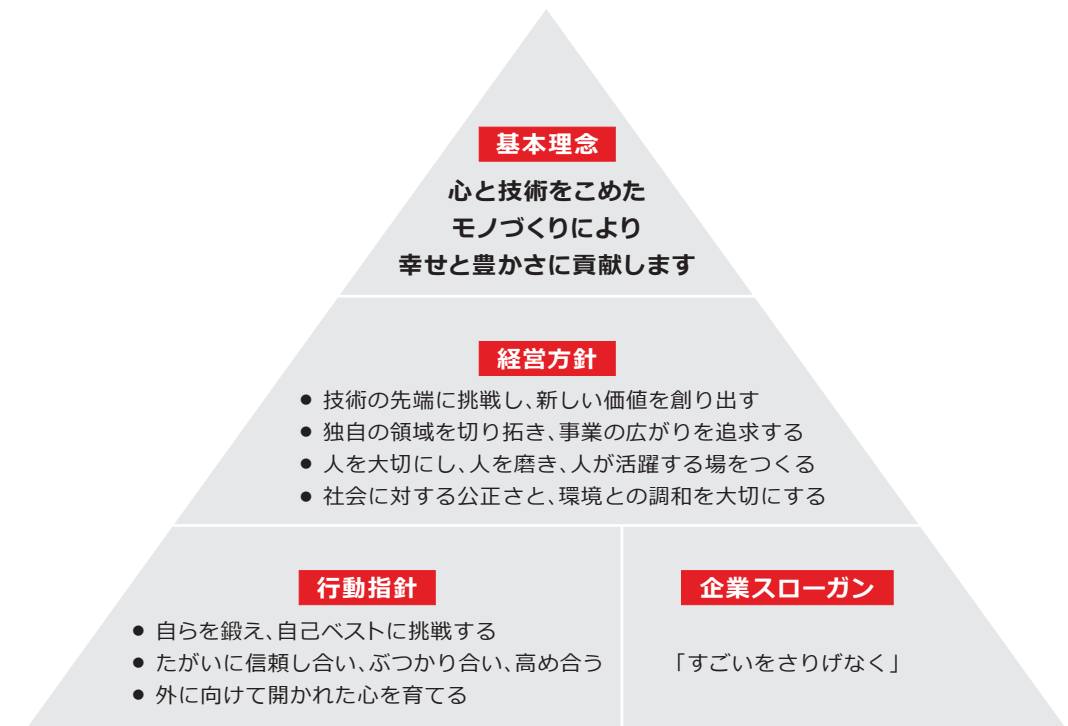
代表取締役社長兼COO 清宮 眞二

CONTENTS

▶ Corporate / Philosophy	01	▶ 研究開発	06
▶ 事業の紹介	03	▶ CSR	07
[タイヤ	03	▶ 中期経営計画「YX2026」	09
MB	05	▶ 生産	11
スポーツ	05	▶ 販売	13

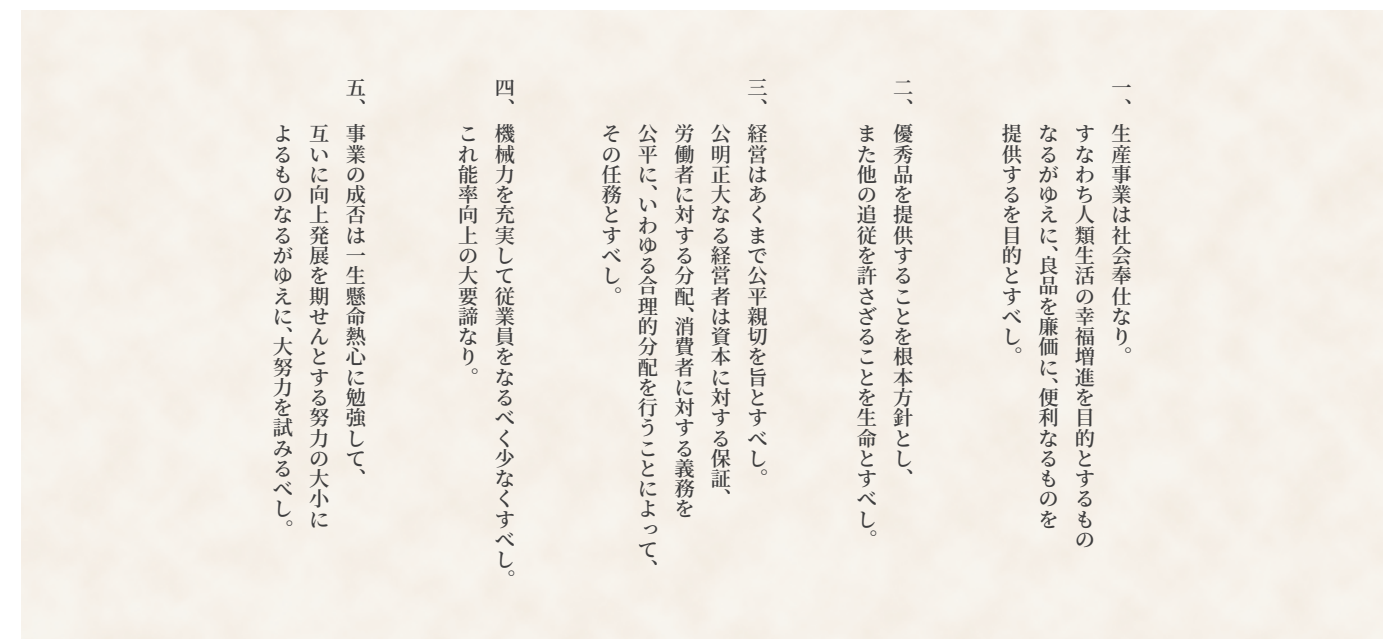
PHILOSOPHY

横浜ゴムの企業理念は「基本理念」「経営方針」「行動指針」「企業スローガン」からなり、「基本理念」は将来に向けて、横浜ゴムが一貫してこだわり続ける目指すべき姿、「経営方針」は経営陣が自らに約束する経営の基本姿勢、「行動指針」は従業員一人一人が自らに課す行動規範です。



創業の精神

横浜ゴムは1929年、社長の中川末吉が横浜工場（横浜市鶴見区）開設に際して述べた訓話を「創業の精神」としています。これには今日の会社経営に通じる社会性と経済性の両立がうたわれています。



消費財タイヤ事業

横浜ゴムのタイヤ事業は、カーライフを彩る乗用車用タイヤから、人々の生活や物流を支えるトラック・バス用タイヤ、資源開発や建設現場で活躍する建設車両用タイヤや、産業車両用タイヤ、農業・林業機械用タイヤまで。

横浜ゴムが開発・生産・販売するさまざまなタイヤは、社会のあらゆる場面で、高い品質でユーザーの信頼を獲得しています。

Passenger Car Tires

乗用車用タイヤ

乗用車用タイヤには、ドライバーの嗜好によってさまざまなニーズがあります。EV、スポーツカー、ラグジュアリーセダン、SUV、ドレスアップ、そしてスタッドレスと、あらゆるドライブシーンに合わせたラインアップで多様化するドライバーの幅広い要求を満たします。あらゆるドライビングニーズに対応する乗用車用タイヤはYOKOHAMAの技術の結晶です。

ADVAN

ADVAN

横浜ゴムのグローバル・フラッグシップ・ブランド「ADVAN(アドバン)」。

ウルトラハイパフォーマンスタイヤ「ADVAN Sport」、EV車専用の「ADVAN Sport EV」、プレミアムコンフォートタイヤの「ADVAN dB」、プレミアムSUV向けの「ADVAN V61」、走り追求したストリートスポーツタイヤの「ADVAN NEOVA」、その他競技用スポーツタイヤなど充実したラインアップを揃え、積極的に世界中に展開しています。



BluEarth

BluEarth

「BluEarth(ブルーアース)」は「環境性能のさらなる向上+人に、社会にやさしい」をテーマとしたグローバル低燃費タイヤブランド。環境貢献とともに、人が運転する時に感じるストレスや車外通過騒音などを低減することで、「人と社会へのやさしさ」を実現するため、数多くの新技術に取り組みや豊富なラインアップでCO₂排出量削減に大きく貢献しています。



iceGUARD

iceGUARD

氷上性能に最も注力した冬用タイヤ「iceGUARD(アイスガード)」。

スタッドタイヤ(北欧向け)、スタッドレスタイヤを揃え、コンパクトカーからSUV車両までをカバーする豊富な商品、タイヤサイズを保有。横浜ゴム独自のコンパウンド、パターン技術によって、冬季路面におけるお客様の安全に貢献いたします。



GEOLANDAR

GEOLANDAR

「地球上のあらゆる道や大地を自在に走る」をコンセプトとした、SUV用タイヤブランド「GEOLANDAR(ジオランダー)」。

ロングツーリングでの優れたコンフォート性を実現したタイプから、オフロード性能、耐摩耗性能を高めたタイプ、さらにウェット性能等、安全性により配慮したパフォーマンスタイプまで、さまざまな目的に適したタイプを揃えています。



Motorsports

モータースポーツ

レース、ラリーなどの幅広いモータースポーツに参戦するYOKOHAMA。各カテゴリーで国内外のチームにコンペティションタイヤの供給を行い、優れた成果を上げています。

モータースポーツ活動は、競技で培った高い技術力と知見を新車用及び市販用タイヤの開発へフィードバックするという重大な役割を担っており、安全性・静粛性・環境負荷低減と自動車を操る楽しさを両立するハイパフォーマンスタイヤを生み出しています。

極限の走りが求められるモータースポーツは、未来のタイヤが誕生する壮大な実験の場でもあるのです。



生産財タイヤ事業

Light Truck Tires

小型トラック用タイヤ

小型トラック用タイヤには市街地での配送・運送業務に適したフットワークが求められます。横浜ゴムでは耐摩耗性能とウェット制動性を両立させる新コンパウンドの開発やころがり抵抗の低減、耐久性の大幅な向上を実現するプロファイル設計を行っています。これらの技術・素材開発により、横浜ゴムの小型トラック用タイヤはウェット性能、耐久性・耐摩耗性を兼ね備え、経済性に優れ、また環境にも配慮し人々の生活を支えています。



Truck & Bus Tires

トラック・バス用タイヤ

経済性・耐久性・安全性などの基本性能はもとより、環境対応、輸送効率向上を強く求められているトラック・バス用タイヤ。横浜ゴムは、これらの要求に応える環境に貢献するトラック・バス用タイヤを世界中に供給しています。大幅な低燃費性能向上と耐摩耗性能を両立させる新コンパウンドの開発や、独自技術「SpiraLoop®(スパイラループ)」によってベルト構造を強化することで幅広タイヤの課題となる形状保持を実現させるなど、物流新時代をひらくさまざまな技術・素材開発を行っています。



Off-Highway Tires

オフハイウェイタイヤ

横浜ゴムは、耐久性や耐熱性に優れたオフハイウェイタイヤ(OHT)を世界中の市場に送り出しています。OHTは、農業用トラクターや超大型ダンプトラック、採鉱場や建設現場で土砂を運ぶホイールローダ、道路工事や除雪を行うグレーダなど、農場や建設現場などで使用される車両の足元を力強く支えています。

2016年にOHT専門メーカーのAlliance Tire Group B.V. (ATG)、2017年にニューマチック型クッションタイヤのパイオニアである愛知タイヤ工業㈱(愛知タイヤ)、2023年に農業機械用・建設車両用・産業車両用の各品種において欧州で高いシェアを持つTrelleborg Wheel Systems Holding AB (TWS)を買収。さらに2024年には米国に本社を置くThe Goodyear Tire & Rubber Companyの鉱山・建設用車両向けタイヤ事業が当グループに加わりました。

YOKOHAMA、ALLIANCE、GALAXY、PRIMEX、AICHI、TRELLEBORG、MITASなどの既存ブランドに加え、Goodyearをあらたなラインナップに迎え、マルチブランドによる市場展開、顧客要望への対応力を強みに事業拡大を進め、さらに成長を加速させていきます。



農業機械用

横浜ゴムグループでは、耕うん・種まき・うね立て・収穫に使用される車両・機械用のタイヤを生産しており、幅広いラインアップを保有しています。農業用のタイヤは、農作物の根を土壌圧縮から守る為、低い内圧で使用されます。



産業車両用

フォークリフトなどのマテリアルハンドリングの他、港湾や空港で使用されます。作業中の揺れを抑制する為、タイヤに高い剛性が求められます。パイアスタイヤや空気の代わりにゴムを充填したソリッドタイヤが用いられます。



林業機械用

主に山間部で使用され、木材の伐採や運搬をする車両や機械に装着されます。タイヤ構造やパターンのチューニングによって、舗装されていない険しい地形や高荷重、悪天候などの過酷な使用環境に対応しています。



建設車両用

採石場などの大量輸送が必要な場所や除雪や災害復旧の現場で使用されます。凹凸のある場所や軟弱な地盤を運転するのに適しており、機動性に優れます。建設現場への移動時を考慮し公道走行が可能なタイヤもあります。



鉱山車両用

石灰石などの鉱山で積載能力が高い大型ダンプやローダーで使用されます。発破直後の碎けた鉱物が散乱する現場で使用される為、耐カット性や耐摩耗性を高める設計をしています。最大57インチまでさまざまなサイズを製造しています。

MB(マルチプルビジネス)事業／ゴルフ事業

横浜ゴムはタイヤに加えて、ホース、コンベヤベルト、航空部品など、特徴ある商品を提供しており、これらの事業をMB(マルチプルビジネス)と呼んでいます。資源、エネルギー、建設、輸送機器など産業の発展の礎として、横浜ゴムの技術が社会に貢献しています。

Hose and Couplings

ホース配管

当社が高いシェアを占める建設機械等の油圧機器に装着される高圧ホースに加え、自動車のエアコンやトランスミッションオイルクーラーなどに使用されるホース配管は、その高い開発力と品質が評価され、国内外の自動車メーカーや部品メーカーへの納入を拡大しています。更にゴム・樹脂ポリマーアロイ材を用いた自動車用次世代環境対応エアコンホースや高圧水素ガス用ホースなど、次の時代に向けた商品開発にも力を入れています。



建設機械に装着される高圧ホース



自動車用次世代環境対応エアコンホース



高圧水素ガス用ホース

Industrial Products

工業資材

工業資材事業では、石油輸送用のマリンホースや防舷材などの海洋商品において、1950年代から長年にわたり培ってきた技術力が評価され、トップブランドの地位を確立しています。空気式防舷材では世界に先駆けて開発した浮遊式に加え、長周期波を受ける港湾や洋上ターミナルにおいて、圧迫的な船体動揺低減効果を発揮する岸壁用空気式防舷材や、世界最大の空気式防舷材など、より安全な港湾及び洋上荷役に貢献しています。さらに、幅広いユーザーニーズにこたえるため、2024年4月には港湾の係留施設に設置するソリッド防舷材として、セル型防舷材とコーン型防舷材を新発売し、ラインアップを拡充しました。また、創業事業の一つであるコンベヤベルトでは、省電力コンベヤベルトや圧迫的な耐熱性能と耐久性を誇るベルトなど際立った製品をグローバルに展開しています。航空部品事業では、長年培ってきた技術をもとにゴム素材を使った燃料タンクや、軽量複合材を使ったウォータータンクやラバトリモジュール(化粧室ユニット)、プリブレグなど、多様な商品を提供しています。



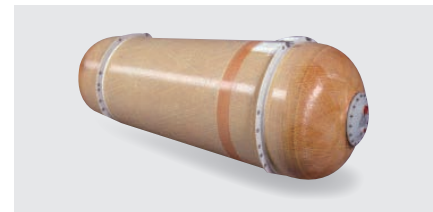
マリンホース



空気式防舷材



コンベヤベルト



ウォータータンク

Golf Products

ゴルフ用品

横浜ゴムのゴルフ用品ブランド、PRGR。1983年、PRGRはゴルフ界に初めてヘッドスピードという概念を打ち出しました。これを機に経験と勘に頼っていたクラブづくりに終止符が打たれ、素材、重量、長さ、大きさ、バランス、さまざまな点からクラブが科学されるようになりました。PRGRの提唱したヘッドスピード理論は現代ゴルフの基礎、常識にもなっています。斬新な発想と独自の理論から生み出されるPRGR製品。ゴルファーに感嘆と感動を届けるブランドとして、PRGRは国内外から常に注目を集めています。



研究開発

横浜ゴムは、世界トップレベルの環境貢献企業を目指し、経営方針「技術の先端に挑戦し、新しい価値を創り出す」を開発テーマに、既成概念にとらわれない新しい素材開発や商品設計を行い、日本初、世界初の技術を生み出していきます。

Research and Development

横浜ゴムでは、さまざまな技術の可能性に挑戦してきました。タイヤだけでなく工業品、航空部品、スポーツ用品などのフィールドで、地道な研究開発に基づいた確かな技術をもとに、ポリマー(ゴム、プラスチック)、金属、有機繊維などの幅広い素材を組み合わせ、安全性に優れた環境に配慮した新商品を生み出しています。例えばタイヤの研究開発。研究は平塚製造所内にある研究開発センター「RADIC(ラディック)」の他、米国の「Yokohama Development Center America」や中国の「Yokohama China Technical Center」などで行われ、さまざまな用途に合わせたゴムコンパウンドの配合や、タイヤ構造・トレッドパターンの設計を行い、タイヤの試作評価を行います。



Test Courses

出来上がったタイヤは国内の「D-PARC(ディー・パーク)」、「北海道タイヤテストセンター」、タイの「Tire Test Center of Asia」、スウェーデンの「Yokohama Test Center of Sweden」などの各テストコースにおいて、さまざまな路面状況に応じた走行試験や多角的なテストが行われ、そこで得たデータが次世代のタイヤ開発に活かされています。



名 称 : D-PARC (Daigo Proving-ground and Research Center)
所 在 地 : 茨城県久慈郡大子町下金沢 695 番地



名 称 : Tire Test Center of Asia
所 在 地 : 135 Moo 2, Tambol Tasit, Amphur Pluakdaeng, Rayong Province 21140, THAILAND



名 称 : 北海道タイヤテストセンター(Tire Test Center of Hokkaido)
所 在 地 : 北海道旭川市神居町上雨紛 500



名 称 : Yokohama Test Center of Sweden
所 在 地 : c/o Arctic Falls AB, 942 91 Vistrask, SWEDEN

未来への思いやり

～ 横浜ゴムグループのサステナビリティへの取り組み ～

横浜ゴムグループは、サステナビリティ・スローガン「未来への思いやり」を掲げ、事業活動を通じた社会課題への取り組みにより、ステークホルダーの皆さまとともに共有価値の創造を図っています。

持続可能な社会に貢献する製品・サービスの提供

環境貢献をタイヤの付加価値に

電動車対応商品であることを示す独自のマーク「E+（イー・プラス）」を導入し、CO₂排出ゼロの再生可能エネルギー由来の電力で生産された新車装着タイヤや、再生可能原料やリサイクル原料の使用比率を高めたモータースポーツ向けタイヤの製造・販売を通じて、高性能・高品質のタイヤに「環境貢献」という新たな価値を加え、タイヤの付加価値の向上に努めています。



タイヤサイドに施された
横浜ゴム独自の「E+」マークの刻印



全日本スーパーフォーミュラ選手権
サステナブルレーシングタイヤ装着車両



サステナブル原料を使用した
ドライ用「ADVAN」レーシングタイヤ

DXを活用したサービスによる顧客の利便性・効率性の向上

DX・サービスでは、横浜ゴムが独自に展開する「T.M.S（タイヤマネジメントシステム）」で培ったノウハウを高度化し、サービス強化によるお客様の利便性・効率性の向上に注力しています。今後も点検効率の向上に努めるとともに、デジタルデバイスとの連携も深め、「お客さまの困りごと解決」を目指します。



「T.M.S」によるタイヤ点検の様子

脱炭素社会・循環型経済への貢献

カーボンニュートラルの取り組み

2030年にCO₂排出量（Scope1+2）を2019年比40%削減、2050年には排出量ネットゼロを目指します。生産拠点においては、新城南工場をカーボンニュートラルのモデル工場として2030年までにカーボンニュートラル化し、そのノウハウを国内外の工場に展開、2050年までに全工場のカーボンニュートラル化に取り組みます。生産拠点以外でも、全社の活動として設備・機器・輸送のプロセスの改善、見直しを進める「年1%自社改善活動」を継続して行い、カーボンニュートラルの実現を目指します。

サーキュラーエコノミーの取り組み

原材料のサステナブル化に取り組み、独自の探索・開発の他、パートナーとの協働・技術開発を通じて2030年に再生可能原料、リサイクル原料の使用率を40%以上、2050年にサステナブル原料100%とすることを目指します。具体的には、エタノールからの高効率ブタジエン合成や植物資源からのブタジエン、イソブレン製造の技術開発、モータースポーツにおける再生可能原料・リサイクル原料の使用比率を高めたタイヤの技術開発などを通じて、製品性能とサーキュラーエコノミーの両立を目指します。



モデル工場となる新城南工場



エタノールからブタジエン合成



植物資源からブタジエン製造

自然との共生

自然との共生の取り組み

国内14拠点、海外8カ国22拠点で展開する「YOKOHAMA千年の杜」活動において、2030年までに累計150万本の植樹・苗木提供を目指します。活動を通じて、豊かな自然環境を守りつつ、CO₂の吸収固定や生物多様性保全の他、災害防止や地域教育にも貢献します。また、国内外の製造所・工場周辺地域において生物多様性保全活動を推進し、事業活動を通じたネイチャーポジティブへの貢献を目指しています。



生物多様性モニタリング（茨城工場）

地域社会との共生

「YOKOHAMAまごころ基金」を通じて社会課題の解決に貢献／従業員の「まごころ」をかたちに

従業員によって2016年に設立された「YOKOHAMAまごころ基金」は、社会課題に取り組んでいる団体への支援や、災害発生時の義援金などに役立っています。加入率は2024年12月現在、全従業員数のうち約40%となりました。横浜ゴムはマッチングギフト※によりYOKOHAMAまごころ基金の活動を支援しています。
※従業員などが社会貢献を目的とした寄付や義援金を提出した際に、企業がその寄付金に一定額、または同額を上乗せして寄付金を拠出する仕組み



横浜ゴムまごころ基金
支援実績合計: 6,949千円(災害義援金含む)
【2024年度の主な支援先】
・かながわ筋電義手バンク
・認定NPO法人フローレンス
・認定NPO法人キープ・ママ・スマイリング
・令和6年能登半島地震 など

持続的な企業価値向上を実現する人材力

人権尊重の取り組み

広く社会から信頼される企業として持続可能な社会の実現に貢献するため、事業活動の基本としてグループ全体で人権尊重の取り組みを実践することが重要と認識しています。2022年4月に策定した「横浜ゴムグループ人権方針」に基づき、横浜ゴムグループの事業活動に関わるすべての人々の人権尊重を目指して人権デューデリジェンスなどの取り組みを進めています。

ダイバーシティ&インクルージョン

「ダイバーシティ&インクルージョン推進タスク」が中心となり、女性活躍や、育児・介護者の支援をはじめ、障がい者・LGBTQ+の受容・理解のためのセミナー開催や、性別・国籍・年齢等に関係なく多様な人材が働きやすい職場環境づくりなどを推進しています。

人材育成・働き方改革

社員一人一人が能力を発揮できるよう、適材適所を推進する人事制度改革を行い、管理職においては、職務・業績と報酬の連動性を高めるジョブ型制度を導入する他、早期に付加価値人材になれるよう育成と選抜を行っています。また、働き方改革では、在宅勤務やフレックスタイム勤務制度を拡充・整備し、配偶者の転勤先でテレワークにより勤務継続できる仕組みなど、更なるワークライフバランスの改善に向けた各種取り組みを進めています。

働き方改革の事例

- ・在宅勤務やフレックスタイムの拡充
- ・時間単位の有給休暇制度の導入
- ・ファミリーサポート向け休暇の導入
- ・育児・介護相談窓口の設置
- ・勤務間インターバルの設定

労働安全衛生

横浜ゴムは、労働災害がなく、健康で長く働くことのできる快適な職場環境づくりを目指しています。労働災害対策では潜在的な災害リスクを排除するための安全診断・リスクアセスメントを実施し、全社員に向けた安全教育にも取り組んでいます。また、健康で長く働くことのできる職場づくりとしては、健康保険組合と連携した「健康経営」に取り組み、社員の健康・体力向上を推進しています。

持続可能なサプライチェーンの構築

持続可能な天然ゴム調達

天然ゴムは横浜ゴムグループの原料使用量の約20%を占めており、お客さまに製品を絶やすことなく提供するためには欠かせない原料です。横浜ゴムグループでは、「持続可能な天然ゴムの調達方針」を策定し、天然ゴム農家の支援活動を通じて違法な森林伐採や児童労働・強制労働根絶を啓発するなど、天然ゴムを持続可能な資源にするための活動を推進しています。

コーポレートガバナンス強化による経営のレジリエンス向上

「ゆるぎない信頼」を得る経営の実践

横浜ゴムは、「企業理念」の下に健全で透明性と公平性のある経営を実現するコーポレートガバナンス体制を築き、さらにこの体制の充実と強化に努めています。これにより、企業価値の継続的な向上を図ることのできる経営体質とし、全てのステークホルダーから「ゆるぎない信頼」を得られる経営を目指します。

ステークホルダーエンゲージメントの強化

全てのステークホルダーの皆様とのコミュニケーションを強化し、「ゆるぎない信頼」を得られる関係を構築します。対話を通じて社会課題を認識し、事業を通じた社会課題への取り組みにより、持続可能な社会への貢献と企業の持続的な成長を目指します。

サステナビリティ課題のガバナンス強化

サステナビリティ課題を全社的な課題と認識し、リスクと機会への対策および事業戦略への反映により経営のレジリエンス向上を目指します。

「変革」の総仕上げを実行し、さらなる成長へ

中期経営計画「YX2026」

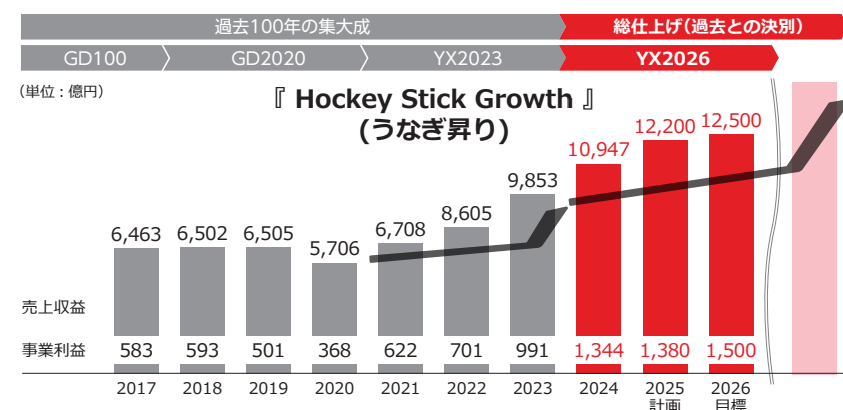
横浜ゴムグループは2026年度までの中期経営計画「Yokohama Transformation 2026(YX2026)」において「変革」の総仕上げに取り組み、次世代に繋ぐさらなる成長を目指しています。



「Hockey Stick Growth」(「うなぎ昇り」)の成長を目指す

中期経営計画「YX2026」では前中期経営計画「YX2023」から推進してきた既存事業における強みの「深化」と新しい価値の「探索」をさらに推し進め、次世代に負の遺産を残さないという強い意志を持って変革の「総仕上げ」に取り組んでいます。この考えの下、各事業で定めた成長戦略を断行するとともに、

「YX2026」中または2027年度に「Hockey Stick Growth」(「うなぎ昇り」)の成長を果たすため、「YX2026」中に様々な施策を実施します。2026年度の経営目標は売上収益で1兆2,500億円、事業利益で1,500億円を目指しています。



2026年度経営目標(現在見込み)

売上収益	1兆2,500億円
事業利益	1,500億円
事業利益率	12%
自己資本比率	50%を目安
ROE	10%超
営業キャッシュフロー	4,100億円 (3年間累計)
設備投資	減価償却費以内 (除く戦略投資)

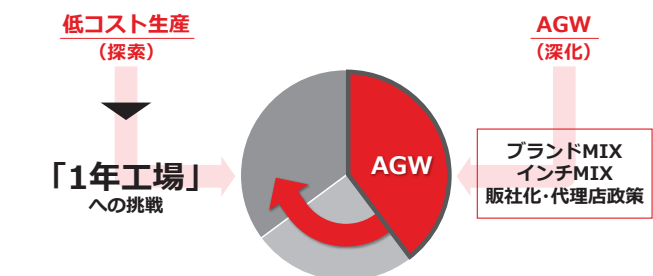
タイヤ消費財戦略

●低コスト・高効率化を推進

近年、低コスト・低価格な新興タイヤメーカーが生産能力を拡大し、市場シェアを伸ばしています。「Hockey Stick Growth」を果たすため、新興タイヤメーカーのコスト競争力に対抗すべく低コスト・高効率化を目指し、1年で工場を立ち上げる「1年工場」に挑戦しています。

●高付加価値品比率の最大化

「ADVAN(アドバン)」 「GEOLANDAR(ジオランダー)」 「ウィンタータイヤ」 (=AGW) など高付加価値品比率の最大化をさらに強化し、収益率の向上を図ります。そのため、プレミアムカーへの新車装着の推進およびグローバルでのモータースポーツへの参戦を継続しブランド価値向上に取り組むとともに、各地域の市場動向に沿った開発・供給・販売を行う「商品・地域事業戦略」を推進しています。



タイヤ生産財戦略

〈OHT事業〉

●マルチブランド戦略で市場地位を強化

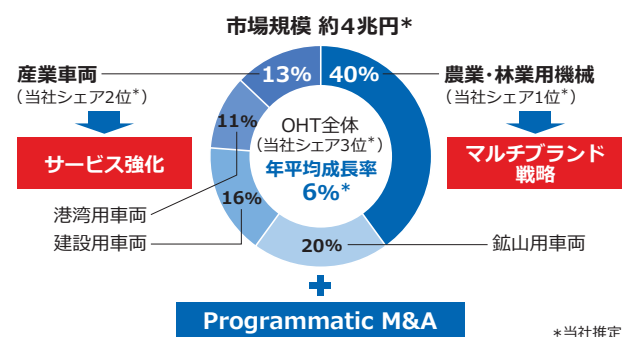
横浜ゴムがトップシェアを誇っている農業・林業用機械向けタイヤでは、Tier(ティア)ごとに持つ生・販・技の強みを活かした「マルチブランド戦略」でさらに市場地位を強化します。

●サービスの拡充&M&Aによる成長

市場2位のシェアを持つ産業車両向けタイヤではタイヤメンテナンスサービスの拡充を図ります。また、建設用・鉱山用車両向けタイヤでは「Programmatic M&A」の一環として、2025年2月にグッドイヤー社のOTR事業を買収しました。

●生産能力の拡大&グループシナジーの創出

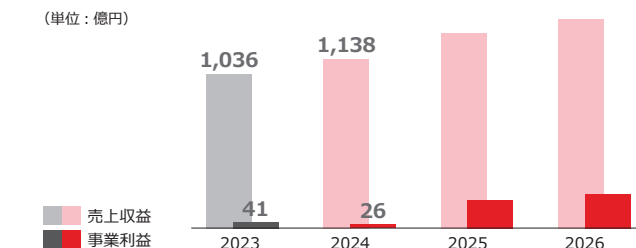
生産能力をさらに拡大するとともに、2023年5月に買収したトレルボルグ・ホイール・システムズ(現Y-TWS)との本格的なシナジー創出に取り組んでいます。



〈TBR事業〉

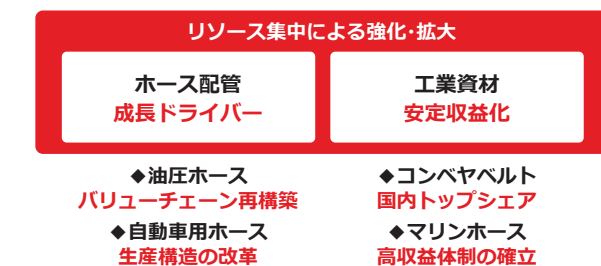
各国による保護政策などにより、適正な価格が維持された国や地域での販売強化を図り、収益を伴った成長を目指しています。

TBR事業の売上・利益の伸長イメージ

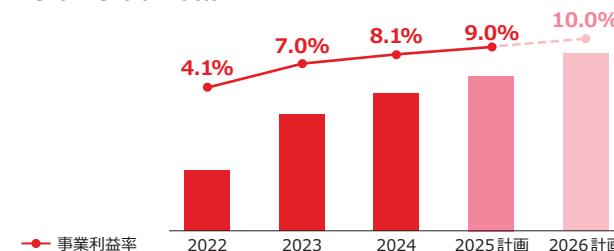


MB事業戦略

2026年度にMB事業全体で事業利益率10%を目指しています。そのためにホース配管事業を「成長ドライバー」と位置づけ、油圧ホースはバリューチェーンの再構築、自動車用ホースは北米での生産構造の改革を実行しています。工業資材事業は、コンベヤベルトでは国内の確固たる市場地位の確立、マリンホースでは高収益体制の安定化に向けた内部改善を推進しています。



MB事業の事業利益目標



技術・生産戦略

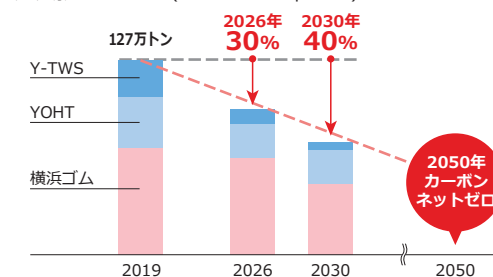
「よいものを、安く、スピーディーに」をモットーに横浜ゴムグループ全体の基盤強化を行います。「よいもの」では次世代プレミアムカーの新車装着を強化し、「安く」では他社に負けない抜本的コストダウンを、そして「スピーディーに」ではタイヤ消費財の「Hockey Stick Growth」の目玉である「1年工場」への挑戦とタイヤ開発スピードの向上に取り組んでいます。



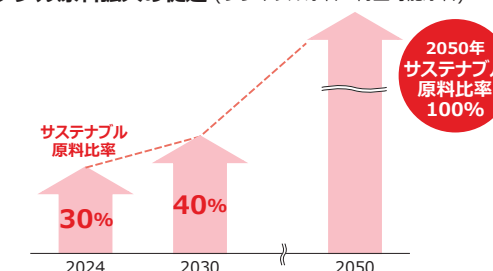
サステナビリティ戦略

サステナビリティ活動は、企業収益と両立する活動として取り組みます。温室効果ガス排出量の削減ではY-TWSを含め、コストを下げながら2019年比で2026年に30%、2030年に40%減を達成することを目指しています。サステナブル原料使用の促進では2026年に28%、2030年に30%を当初目標としていましたが、2024年に30%を前倒しで達成したため、2030年の目標を40%に引き上げました。

温室効果ガス排出量削減 (2019対比・Scope1+2)



サステナブル原料拡大の促進 (リサイクル原料+再生可能原料)



財務戦略／株主還元

●ROE(自己資本利益率)10%超を目指す

「Hockey Stick Growth」を目指す積極的な戦略投資によって企業価値を高めます。資本効率化では政策保有株式の売却、資本構成では最適な資本バランスの実現(自己資本比率50%を目安)に取り組んでいます。PER(株価収益率)向上では経営陣による情報発信と対話を強化しています。

●成長に向けた投資と継続的な増配を両立

キャピタル・アロケーションでは3年間累計のキャッシュイン約5,000億円のうち、約3,700億円を戦略投資と経常投資に充てる予定です。一方、株主還元については安定的かつ継続的に増配していくことを目指し、「YX2026」の最終年度である2026年度に総還元性向30%を目指しています。

ROE 10%超			PER
収益率向上	資産効率	最適な資本バランス	資本コスト低減 期待成長率の向上
戦略投資 2,700億円	政策保有株式 600億円以上売却	自己資本比率 50%目安	投資家対話の深化
キャピタル・アロケーション			株主還元
●キャッシュイン:5,000億円			●キャッシュアウト:5,000億円
資産売却 900億円			営業キャッシュフロー 4,100億円
●キャッシュアウト:5,000億円			借入返済等 800億円
配当 500億円			戦略投資 2,700億円
(追加還元策)			経常投資 1,000億円
配当性向 YX2026: 20%			総還元性向 YX2026: 30%

※除く政策保有株式売却

横浜ゴムグループでは、最高レベルの商品をお届けすべく、最先端の技術を導入した生産拠点において、徹底した品質管理のもと生産活動が行われています。また、従業員一人ひとりが品質改善をはじめとした活動に積極的に取り組んでいます。海外における生産拠点数も増えており、米国や中国などでは現地で生産した製品を現地で販売するなど、地域に根付いた生産・販売活動を行っています。

国際品質規格である「ISO9001」の認証は全タイヤ生産拠点で取得しています。さらに、自動車産業向けの品質マネジメントシステムである国際品質規格の「ISO/TS16949」も国内外の生産拠点で取得するなど、高いレベルでの生産活動を維持しています。新たに設立する工場はもちろん、従来の工場においても環境に配慮した生産体制を整えています。国内の生産拠点では、クリーン燃料の高効率なコージェネレーションシステムを導入しており、大幅なCO₂削減を可能にしています。さらに国内の全生産拠点では、産業廃棄物の埋立処分量をゼロにする完全ゼロエミッションを達成しており、今後は産業廃棄物の100%再資源化をめざしています。

タイヤ生産拠点

1 Yokohama Tire Manufacturing Mississippi, LLC.
1 Yokohama Blvd, West Point, MS 39773, U.S.A.

2 Yokohama Tire Manufacturing Virginia, LLC.
1500 Indiana Street, Salem, VA 24153, U.S.A.

3 Yokohama TWS North America, Inc.
Charles City Plant
1200 Rove Avenue Charles City IA 50616, U.S.A.

4 Yokohama TWS North America, Inc.
Spartanburg Plant
790 Reeves Street Spartanburg SC 29301, U.S.A.

5 Yokohama TWS Brazil Industria e Comercio de Borrachas e Polimeros Ltda.
Feira De Santana Plant
Avenida Deputado Luis Eduardo Magalhães, S/N
Quadra J Blocos A e B no Bairro Limoeiro
Feira de Santana – Bahia CEP 44.097- 324, BRASIL

6 Yokohama TWS S.p.A.
Tivoli Plant
Tivoli (RM) Via Nazionale Tiburtina 143
Postal Code 00019, ITALY

7 Yokohama TWS Slovenija d.o.o.
Kranj Plant
Škofjeloška cesta 6 4000 Kranj, SLOVENIA

8 Yokohama TWS Serbia d.o.o.
Ruma Plant
Industrijska bb 22 400 Ruma, SERBIA

9 Yokohama TWS Czech Republic a.s.
Otrokovice Plant
Tomase Bati 1740, 765 01 Otrokovice,
CZECH REPUBLIC

10 Yokohama TWS Czech Republic a.s.
Zlin Plant
Šedesátá 5638, 76002 Zlin, CZECH REPUBLIC

11 Yokohama TWS Latvia LSEZ SIA
Liepaja Plant
Kapsēdes iela 2 Liepāja LV-3414, LATVIA

12 LLC Yokohama R.P.Z.
RUSSIA, 399071, Lipetsk region, Gryazy district, Gryazy town, territory of SEZ PPT Lipetsk, building 47, block 11

13 Yokohama India Pvt. Ltd.
Plot No.1 Sector 4B, Bahadurgarh Industrial Estate,
HSIIDC Bahadurgarh, Dist - Jhajjar, Haryana 124507,
INDIA

14 ATC Tires Private Ltd.
Tirunelveli Plant
Plot No. A2, SIPCOT Industrial Growth Centre,
Gangaikondan, Tirunelveli, 627 352, INDIA

15 ATC Tires Private Ltd.
Dahej Plant
D-III, 23 & 23A Dahej Industrial Estate,
Village-Samantpore, Taluka-Vagra,
District Bharuch,Gujarat-392 140, INDIA

16 ATC Tires AP Private Ltd.
Visakhapatnam Plant
Plot No.6,7, 8A2, 8A, 8B, 8B1A and 8C situated at
Industrial Park, Denotified Area, Atchutapuram,
Visakhapatnam, Anakapalle, Andhra Pradesh,
531011, INDIA

17 Yokohama TWS Lanka (Pvt.) Ltd.
Yokohama TWS Tyres Lanka (Pvt.) Ltd.
Sapugaskanda Plant
Levin Drive Sapugaskanda Makola
Postal Code 11640, SRI LANKA

18 Yokohama TWS LK (Pvt.) Ltd.
Malwana Plant
45, B E P Z Biyagama Walgama Malwana
Postal Code 11670, SRI LANKA

19 Yokohama Tire Manufacturing (Thailand) Co., Ltd.
7/216 Moo.6 Amata City Rayong Industrial Estate, Tambol
Mapyangporn, Amphur Pluakdaeng, Rayong Province
21140, THAILAND

20 Yokohama Mold (Thailand) Co., Ltd.
Eastern Seaboard Industrial Estate, 300/30 Moo. 1
Tambon Tasit, Amphur Pluakdaeng, Rayong, 21140,
THAILAND

21 杭州優科豪馬輪胎有限公司
NO.55. NO.3 Street, Hangzhou Economic and Technical
Development Area, Hangzhou, Zhejiang 310018, CHINA

22 蘇州優科豪馬輪胎有限公司
NO.158, Huaqiao Road, Xuguan Industrial Park, Suzhou
National New & Hi-Tech Industrial Development Zone,
Suzhou, Jiangsu Province, 215151, CHINA

23 Yokohama TWS (Hebei) Co. Ltd.
Hebei Plant
NO.788 Zhongxing St. West Xingtai Heibei 054000
P.R.CHINA

24 Yokohama TWS (Xingtai) Co. Ltd.
Xingtai Plant
NO. 999 Jianshe St. Xingtai Hebei 054000 P.R. CHINA

25 Yokohama Tire Philippines, Inc.
IE5, Clark Freeport Zone, Pampanga , 2023, PHILIPPINES

26 Yokohama Tyre Vietnam Inc.
No.17, Street 10, Vietnam Singapore Industrial Park,
Binh Hoa ward, Thuan An city, Binh Duong Province,
VIETNAM

M B 生産拠点

1 Yokohama Industries Americas Inc.
105 Industry Drive, Versailles, KY 40383, U.S.A.

2 Yokohama Industries Americas Ohio Inc.
474 Newell Street, Painesville, OH 44077, U.S.A.

3 Yokohama Industries Americas de Mexico, S. de R.L. de C.V.
Circuito Cerezos Oriente #101, San Francisco de los
Romo, Aguascalientes, C.P. 20355, MEXICO

4 PT. Yokohama Industrial Products Manufacturing Indonesia
Jl. Mas Surya Negara VIII No. 6 Kawasan Industri
Terpadu Kabil Batam 29467, INDONESIA

5 Yokohama Rubber (Thailand) Co., Ltd.
Eastern Seaboard Industrial Estate, (Rayong) 64 Moo 4
Tambol Pluakdaeng, Ampur Pluakdaeng Rayong 21140,
THAILAND

6 杭州優科豪馬橡膠制品有限公司
NO.89, Sanfeng Road, Qianjin Industrial Park Jiangdong
Level Block Hangzhou,311227, CHINA

7 山東横浜橡膠工業制品有限公司
Xinzhai Local Town, Linqu County, Weifang City,
Shandong Province,262610, CHINA

8 協機工業股份有限公司
NO.99, Xiyuan Road, Zhongli Dist., Taoyuan City 320,
TAIWAN R.O.C.

天然ゴム加工工場

1 Y.T. Rubber Co., Ltd.
51/2 Moo1 Tambon Tha Sa Thorn, Amphur Phunphin
Suratthani 84130, THAILAND

国内生産拠点

平塚製造所
〒254-0047 神奈川県平塚市追分2-1

三重工場
〒516-8530 三重県伊勢市御園町高向1038

三島工場
〒411-0832 静岡県三島市南二町8-1

新城工場
〒441-1343 愛知県新城市野田字古屋敷 1

新城南工場
〒441-1338 愛知県新城市一鉄田字大入10-24

茨城工場
〒319-0198 茨城県小美玉市羽鳥西 1

尾道工場
〒722-0051 広島県尾道市東尾道20

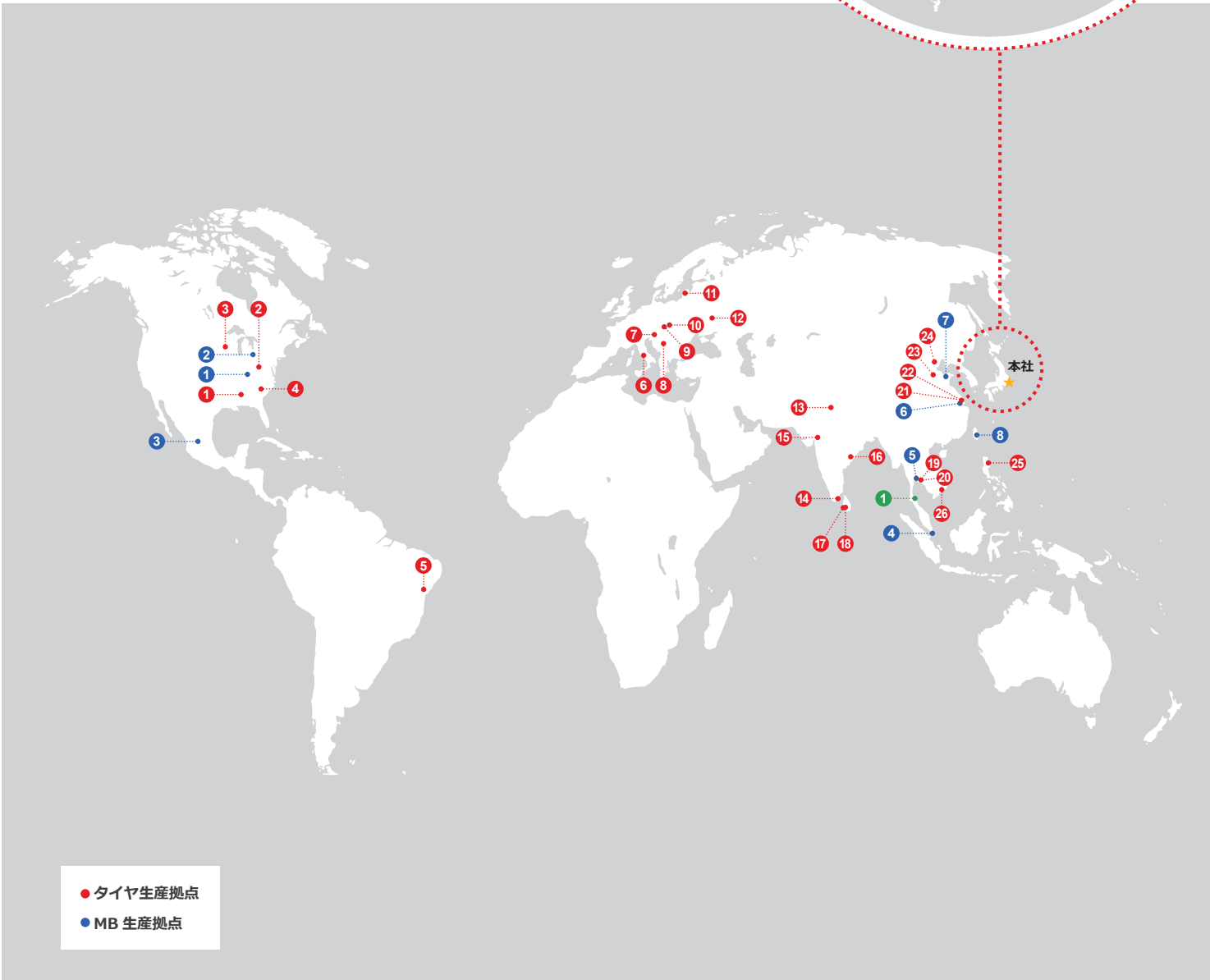
長野工場
〒399-3201 長野県下伊那郡豊丘村河野9100

愛知タイヤ工業株式会社
本社・小牧工場
〒485-0802 愛知県小牧市大字大草字年上坂5827-1
春日井工場
〒486-0808 愛知県春日井市田楽町字大坪1108

ヨコハマタイヤリトレッド株式会社
本社・尾道事業所
〒722-0221 広島県尾道市長者原2 丁目165-28
埼玉事業所
〒354-0044 埼玉県入間郡三芳町北永井395
名古屋事業所
〒470-0206 愛知県みよし市蒔生町南山ノ上192-2
北海道事業所
〒059-1365 北海道苫小牧市植苗162-2

亀山ビード株式会社
〒519-0168 三重県亀山市太岡寺町820-6

日本ジャイアントタイヤ株式会社
〒679-4124 兵庫県たつの市龍野町中井338



個人消費者を対象とする乗用車用タイヤやゴルフ用品の販売においては、店頭やイベント会場でのお客様とのふれあいが大きな意味を持ちます。

横浜ゴムは、店頭ではもちろんのこと、各種モーターショーなどにも積極的に参加し、単体および車両に装備したタイヤやホイールをじっくりご覧になっていただくとともに、お客様との密接なコミュニケーションを図っています。ゴルフ用品についても、国内の販売店で行われる試打会や試打クラブのレンタル、フィッティングスタッフによるお客様に合った商品選びのお手伝いなどを行っています。こうした“ふれあいの場”で得られた生の声は即座にフィードバックされ、商品の改善や新商品の開発に役立てられています。

タイヤ販売/ 事業会社

- 1

Yokohama Tire Corporation
1 MacArthur Place, Suite 900 Santa Ana, CA 92707, U.S.A.
- 2

Yokohama Corporation Of North America
1 MacArthur Place, Suite 900 Santa Ana, CA 92707, U.S.A.
- 3

Yokohama Off-Highway Tires America, Inc.
201 Edgewater Drive, Suite 285, Wakefield, MA01880, U.S.A.
- 4

Yokohama Tire (Canada) Inc.
Unit 218 20353 64th Avenue, Langley, BC, canada V2Y 1N5, CANADA
- 5

Yokohama TWS Canada Inc.
1055 west georgia street 1500 royal centre P.O. BOX 11117 vancouver BC V6E 4N7, CANADA
- 6

Yokohama TWS Brazil Ltda.
Av. Pref. João Vilalobo Quero 1960 Barueri SP CEP 06422-122, BRASIL
- 7

Yokohama Tire Mexico S. de R.L. de C.V.
Boulevard Bernardo Quintana #300-1102 (Piso 11), Col. Centro Sur, C.P. 76090, Querétaro, Qro, MEXICO
- 8

Yokohama TWS Mexico S.A. de C.V.
Hermenegildo Galena #357 Oriente Colonia El Lechugal Santa Catarina Nuevo Leon Postal Code 66376, MEXICO
- 9

Yokohama H.P.T. Ltd.
Dawson Road, Mount Farm, Bletchley, Milton Keynes, Buckinghamshire, MK1 1QY, UNITED KINGDOM
- 10

Interfit Ltd
Unit 5 Lighthouse Trade Park Church Road Lydney Gloucestershire, GL15 5EN ENGLAND
- 11

Yokohama TWS UK Ltd
Unit 5 Lighthouse Trade Park Church Road Lydney Gloucestershire, GL15 5EN ENGLAND
- 12

MITAS AG UK Ltd
Unit 5 Lighthouse Trade Park Church Road Lydney Gloucestershire, GL15 5EN ENGLAND
- 13

Yokohama Pneumatici S.r.L
Via Mancini Lodovico, 5 - 20129 Milano (MI), ITALY
- 14

Yokohama TWS Austria GmbH
Am Taich 1 Sankt Valentin Postal Code 4300, AUSTRIA
- 15

Alliance Tire Europe B.V.
VESTA BUILDING,Herikerbergweg 181 1101 CN Amsterdam, THE NETHERLANDS
- 16

Yokohama TWS Netherlands B.V.
Zadelmakerstraat 4 2984CC Ridderkerk, THE NETHERLANDS
- 17

Yokohama Suisse SA
Office Lab, Industriestrasse 171 in 8957 Spreitenbach,SWITZERLAND
- 18

Yokohama TWS Switzerland GmbH
Bertiswilstrasse 52 Rothenburg Postal Code 6023, SWITZERLAND
- 19

Yokohama Scandinavia AB
Gustavslundsvägen 135, SE-167 51 BROMMA, SWEDEN

- 20

Yokohama TWS Holding AB
Trelleborg AB (publ) Johan Kocksgatan 10 231 22 TRELLEBORG, SWEDEN
- 21

Yokohama TWS Sweden AB
Box 1088 231 81 TRELLEBORG, SWEDEN
- 22

Yokohama Iberia S.A.
Avda. Isla Graciosa 1 – 2ª planta puerta 6 CP 28703 – San Sebastián de los Reyes, Madrid, SPAIN
- 23

Yokohama TWS Spain S.A.
Pau Claris, 163 3º 08037 Barcelona, SPAIN
- 24

Yokohama TWS Slovakia a.s.
Černyševského 3427/26 Bratislava - mestská časť Petržalka 851 01, SLOVAKIA
- 25

Yokohama Europe GmbH
Monschauer Strasse 12, D-40549 Dusseldorf, GERMANY
- 26

Yokohama TWS Germany GmbH
Helmholtzstr. 1 D-64711 Erbach, GERMANY
- 27

Interfit Germany GmbH
Konrad Adenauer Ring 22 D-47167 Duisburg-Neumühl, GERMANY
- 28

Yokohama France S.A.S.
2, rue Philippe Lebon, B.P. 375, F-69746 GENAS Cedex, FRANCE
- 29

Interfit France SAS
Zone industrielle d'Aix-les-Mille 900 rue Ampère 13100 AIX-EN-PROVENCE, FRANCE
- 30

Yokohama TWS France SAS
Origin's Park Bâtiment E 176, rue Robert Schuman 60610 LACROIX SAINT OUEN, FRANCE
- 31

Yokohama TWS Belgium NV
Brugse Steenweg 7 9940 Evergem, BELGIUM
- 32

Yokohama CEE Spółka z o.o.
Al. Jerozolimskie 132/136 02-305 Warsaw, POLAND
- 33

Yokohama TWS Poland Sp. z o.o.
A. Struga 66 90-557 Łódź, POLAND
- 34

Yokohama TWS Turkey Lastik Sanayi ve Ticaret Anonim Şirket
Çınar Mahallesi, Rıfı Tongsir Caddesi, Nida Kule Küçükyalı A04, Building 115, Office 25 34841 Maltepe/İstanbul TURKIYE
- 35

Yokohama TWS Luxembourg Sarl
25, ZAC Klengbousbiërg, Building A 7795 Bissen Grand Duchy of LUXEMBOURG
- 36

Yokohama Russia L.L.C.
RUSSIA, 141407, Moscow Region, Khimki, Panfilova Street, property 19, building 4, floor 2, room 1
- 37

OOO Mitas
115432, RUSSIA, Moscow, Proektiruemy proezd 4062-th, block 6, building 16, office 26
- 38

Yokohama TWS RUS OOO
115432, RUSSIA, Moscow, Proektiruemy proyezd 4062, house 6, building 16, room 25

- 39

Yokohama TWS Kazakhsan LLP
38, Dostyq Avenue, Office 23 050010 Almaty KAZAKHSTAN
- 40

ATC Tires Private Ltd.
Unit No.1001, 10th Floor Tower A, Embassy 247, Lal Bahadur Shastri Marg, Vikhroli – West, Mumbai 400083, INDIA
- 41

PT Yokohama TWS Indonesia
Wisma Korindo 5th Floor Jl. M. T. Haryono Kav. 62 Jakarta 12780, INDONESIA
- 42

Yokohama TWS Singapore Pte. Ltd.
4, Jalan Pesawat, SINGAPORE 619362
- 43

Yokohama Asia Co., Ltd.
23rd Floor, Zone B.C, Thanapoom Tower, 1550 New Petchburi Road, Makkasan, Ratthewi, 10400 BANGKOK,THAILAND
- 44

Yokohama Tire Sales (Thailand) Co., Ltd.
23rd Floor, Zone B.C, Thanapoom Tower, 1550 New Petchburi Road, Makkasan, Ratthewi, 10400 BANGKOK,THAILAND
- 45

Yokohama Tire Korea Co., Ltd.
Lordland EZ Tower 510, 69, Seongnam-daero, Bundang-gu,Seongnam-si, Gyeonggi-do, Republic of KOREA
- 46

優科家馬橡有限公司
10F, GUBEI SOHO, 188 Ruby Road, Shanghai, 201103, CHINA
- 47

上海優科家馬輪胎销售有限公司
10F, GUBEI SOHO, 188 Ruby Road, Shanghai, 201103, CHINA
- 48

台灣橫濱輪胎股份有限公司
Suite 1401 14th Floor No.88, Sec 2 Chung Hsiao E. Road Taipei, TAIWAN
- 49

Yokohama Tire Sales Philippines, Inc.
3F Kentek Bldg, 828 A.Arnaiz Ave., San Lorenzo Village, 1223, Makati City, PHILIPPINES
- 50

Yokohama TWS Philippines Corp.
9261 Dita Street San Antonio Village Makati City, PHILIPPINES
- 51

Yokohama Tyre Sales Vietnam Co., Ltd.
4th Floor, No.177, Hai Ba Trung Street, Vo Thi Sau Ward, District 3, Ho Chi Minh City, VIETNAM
- 52

Yokohama Tyre Sales Malaysia Sdn. Bhd.
No.15 Jalan Jurutera U1/23, Seksyen U1, HICOM-Glenmarie Ind.Park, 40150 Shah Alam, Selangor Darul Ehsan, MALAYSIA
- 53

Yokohama TWS (Malaysia) Sdn. Bhd.
No 35 Jalan 4/47,Petaling Jaya 46050 selangor, MALAYSIA
- 54

Yokohama Tyre Australia Pty., Ltd.
123-129 Silverwater Road, Silverwater, N.S.W 2128, AUSTRALIA
- 55

T&M Holdings Pty Ltd.
123-129 Silverwater Road, Silverwater, N.S.W 2128, AUSTRALIA

また、MB 製品やトラック・バス用タイヤおよび建設車両用などのオフハイウェイタイヤなどは、第一線で日々使われているお客様の要望を聞くことからはじまります。何度も現場へ足を運ぶことで、お客様の真のニーズを把握し、そこから一つひとつの商品が生み出されます。

世界各地にタイヤおよびMBのネットワークを構築し、国内外一体となった販売体制を確立する横浜ゴム。ワールドワイドなマーケティング戦略のもとに、「YOKOHAMAブランド」のさらなる価値向上をめざします。

M B 販売/ 事業会社

- 1

Yokohama Aerospace America, Inc.
22223 68th Avenue South, Kent, WA 98032-1010, U.S.A.
- 2

Yokohama Europe GmbH Industrial Products Division
Monschauer Strasse 12, D-40549 Düsseldorf, GERMANY
- 3

Yokohama Industrial Products Asia-Pacific Pte. Ltd.
160 ROBINSON ROAD, #15-01 SBF CENTER, 068914, SINGAPORE
- 4

上海優科家馬橡製品商貿有限公司
10F, GUBEI SOHO, 188 Ruby Road, Shanghai, 201103, CHINA

国内販売会社

- 株式会社ヨコハマタイヤジャパン

〒108-6213 東京都港区港南2丁目15-3 品川インターシティC棟13階

株式会社ワイエフシー

〒254-0047 神奈川県平塚市追分2-1

横浜ゴムMB ジャパン株式会社

〒108-6213 東京都港区港南2丁目15-3 品川インターシティC棟13階

株式会社プロギア

〒254-0047 神奈川県平塚市追分2-1

タイヤ・工業製品用原材料の調達と販売

- 1

Yokohama Rubber Singapore Pte. Ltd.
160 ROBINSON ROAD, #15-01 SBF CENTER, SINGAPORE 068914
- 2

Singapore Branch
160 ROBINSON ROAD, #15-01 SBF CENTER, SINGAPORE 068914

海外出張所

- 1

Dubai Office
P.O. Box 296846, (Location: DAFZA 3E G01), Dubai, UNITED ARAB EMIRATES

